館外レポート2013年度

平和祈念展示資料館

2013年度

2014年2月5日	平和祈念展 in 鳥取
2014年1月10日	平和祈念展 in 甲府
2013年12月24日	平和祈念交流展 in 予科練平和記念館 『抑留画家 早田貫一と従軍カメラマン 小柳次一』
2013年12月24日	平和祈念展 in 奈良
2013年12月20日	平和祈念フォーラム in 新宿 – 戦争体験者から高校生へ –
2013年12月3日	平和祈念展 in 福井
2013年11月22日	平和祈念展 in 熊本
2013年10月29日	特別イベント「シベリア抑留を描く-二人の画家展」
2013年10月1日	出展協力「さいたま市平和展」
2013年9月6日	平和祈念展 in 新宿
2013年8月27日	子ども霞が関見学デー
2013年7月31日	平和祈念展 in 前橋
2013年7月18日	平和祈念展 in 青森

平成25年度の館外での展示会第1回目は青森県・青森市で開催しました。

• 会期:平成25年6月26日(水)~6月30日(日)午前9時30分~午後6時30分

• 会場:青森市文化観光交流施設「ねぶたの家 ワ・ラッセ」(青森県・青森市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展in 青森」では、当資料館所蔵の代表的な資料や写真など、約160点を展示しました。

今回より、体験者証言コーナーを新設し、著名人6名の体験談を音声で紹介したほか、海外からの引揚げコーナーでは、引揚者たちの食事の一例である「コーリャン飯」を再現し、手に取って見てもらえる展示を増やすなど、より理解を深めてもらう展示を充実させました。













平成25年度の館外での展示会第2回目は群馬県・前橋市で開催しました。

◆ 会期:平成25年7月11日(木)~7月15日(月)午前9時30分~午後6時30分

• 会場:前橋プラザ元気21 1階にぎわいホール (群馬県・前橋市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 前橋」では、当資料館所蔵の代表的な資料や写真のほか、特別展示として群馬県出身の漫画家・斎藤邦雄氏の作品など、約170点を展示しました。

特別展示「高崎連隊の兵営生活ー斎藤邦雄の世界ー」では、自らの戦争体験を漫画に描いた斎藤氏の作品群の中から、地元の群馬県ゆかりの高崎連隊に関する作品を紹介しました。













総務省委託の平和祈念展示資料館は、子ども霞が関見学デーに参加しました。

◆ 会期:平成24年8月7日(水)8日(木) 午前10時~午後3時□

• 会場:中央合同庁舎2号館 講堂(地下2階)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、次の世代に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用して全国で催しを行っています。

今回は、当資料館の紹介展示のほか、"マンガにみる引揚げ体験"として、森田拳次さんとちばてつやさんの作品パネルや、自身の少年の頃を描いたイラストのサイン入り等身大パネルを展示しました。

また、当時抑留者の1日の食事であった約350gの黒パンや、引揚者のリュックサックの再現資料による体感展示のほか、デジタルフォトフレームで勝山俊一さんの絵画作品を紹介しました。













平成25年度の館外での展示会第3回目は東京都・新宿区で開催しました。

◆ 会期:平成25年8月9日(金)~8月14日(水)午前9時~午後7時

• 会場:新宿西口広場イベントコーナーA1・B1ゾーン(東京都・新宿区)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 新宿」では、当資料館所蔵の代表的な資料や写真など、約160点を展示しました。 資料館インフォメーションコーナーでは、デジタルフォトフレームによる企画展「-子どもたちの引揚げ-『引揚げ漫画 原画展』」の展示作品をはじめ、当資料館の展示会、イベントなどを紹介しました。













平和祈念展示資料館は、さいたま市が主催する「さいたま市平和展」に出展協力し、全体プログラムおよび展示の一部に 参加しました。

- 日時:平成25年8月24日(土)午後1時~午後5時/25日(日)午前10時~午後3時
- 会場:さいたま市プラザノース 多目的ルーム(埼玉県・さいたま市)

24日(土)は特別プログラムとして、当資料館の増田名誉館長の挨拶の後、テレビ局アナウンサーの小室早弥香さんと波 多江良一さんによる、労苦体験手記「平和の礎」の朗読を行いました。

25日(日)は、当資料館が企画監修したテレビ番組「記憶のリレー~戦争体験をつなぐ課外授業~」の上映会と番組出演 者によるトークイベントに協力しました。

また、両日とも特別展示として、会場の一角に、抑留体験者で埼玉県在住の漫画家・斎藤邦雄氏による「戦後強制抑留」 作品展示と、漫画家 上田トシコ氏、ちばてつや氏、森田拳次氏、山内ジョージ氏、山口太一氏が、引揚げ体験をもとに描 いた漫画のイラストパネルを展示しました。













さいたま市による展示

特別イベントとして、九段生涯学習館 九段ギャラリーにて「シベリア抑留を描く-二人の画家展」を開催しました。

会期:平成25年9月12日(木)~9月16日(月・祝)午前10時~午後5時30分

• 会場:九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、次の世代に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用して全国で催しを行っています。

「シベリア抑留を描く - 二人の画家展」では、シベリア抑留体験者の佐藤清氏と関豊氏の二人が描いた油彩画作品23点を展示しました。

14日(土)には、学芸員のギャラリートークを開催し、佐藤清氏、関惠子氏(関豊氏の長女)をゲストに招き、作品にまつわるエピソードなどをお話いただきました。

また今回のイベントに合わせて、会場近くの昭和館・しょうけい館では、連携した企画を開催しました。







学芸員のギャラリートーク(ゲスト:佐藤清氏)



学芸員のギャラリートーク(ゲスト: 関惠子氏)





平成25年度の館外での展示会第4回目は熊本県・熊本市で開催しました。

• 会期:平成25年10月10日(木)~10月14日(月) 午前9時30分~午後6時30分

• 会場:桜の馬場 城彩苑 総合観光案内所 2階 多目的交流室(熊本県・熊本市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 熊本」は、昭和館主催の巡回特別企画展「伝えたい『戦中・戦後』のくらし」と連携し、同県で同時期の開催としました。

当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真のほか、小柳次一氏が撮影した義烈空挺隊の写真など、約130点を展示しました。

特別展示「熊本陸軍飛行場と義烈空挺隊 – 従軍カメラマン・小柳次一写真展 – 」では、小柳氏が撮影した写真の中から、昭和20(1945)年5月に熊本陸軍飛行場から出撃した義烈空挺隊の写真を紹介しました。













平成25年度の館外での展示会第5回目は福井県・福井市で開催しました。

● 会期:平成25年10月30日(水)~11月4日(月) 午前9時30分~午後6時30分

• 会場:福井市地域交流プラザ(AOSSA内) 5階ギャラリー(福井県・福井市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 福井」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真など、約160点を展示しました。

福井県ゆかりの資料として、4歳の時に母親に連れられ、満州から福井県に引揚げてきた方が、その体験を描いた絵本「おもいでのリュック」を、当時使ったリュックとともに紹介しました。

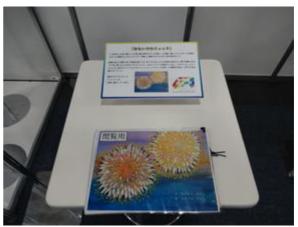












平成25年度は、"証言で知る戦後の労苦体験"として、演劇部や放送部の現役高校生が、戦後の労苦体験を綴った手記の朗 読や、体験者との意見交換を行う「平和祈念フォーラム in 新宿」を開催しました。

- 開催日:平成25年11月9日(土) 午後2時~
- 会 場:新宿住友ホール(東京都・新宿区)
- 出 演:波多江良一(テレビ埼玉アナウンサー)、西田朱里(千葉テレビ放送アナウンサー)、首都圏の高校生、シベリア抑留体験者、満州からの引揚げ体験者、増田弘(平和祈念展示資料館名誉館長)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦への理解を深め、次の世代に伝えていくため、平和祈念フォーラムを開催しています。

フォーラムの構成は2部構成としました。

第1部は5校の現役高校生が、労苦体験手記「平和の礎」から1作品づつ朗読を行い、それぞれの作品を自分たちで考え、 演じました。

第2部は戦後の労苦体験者と高校生が意見交換を行い、体験者の労苦について知り、理解を深める機会としました。





浦和実業学園高校



さいたま市立大宮北高校



専修大学松戸高校



千葉県立松戸高校



東京農業大学第三高校



戦後の労苦体験者のお話



戦後の労苦体験者と高校生の意見交換

平成25年度の館外での展示会第6回目は奈良県・奈良市で開催しました。

● 会期:平成25年12月3日(火)~12月8日(日) 午前9時~午後8時

• 会場: 奈良県立図書情報館 2階 メインエントランス(奈良県・奈良市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 奈良」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真など、約160点を展示しました。













平和祈念交流展 in 予科練平和記念館

『抑留画家 早田貫一と従軍カメラマン 小柳次一』

タイトルナンバー: Vol.25-14

平和祈念展示資料館は、予科練平和記念館と連携し「平和祈念交流展」を開催しました。

会期:平成25年11月6日(水)~12月15日(月・祝)午前9時~午後5時

• 会場:予科練平和記念館 20世紀ホール(茨城・稲敷郡阿見町)

今回の交流展では、当資料館が所蔵する抑留画家・早田貫一氏がシベリア抑留体験を描いた絵画や、従軍カメラマン・小柳次一氏が撮影した写真のほか、予科練平和記念館が公開している、日本工房で小柳氏と同時期を過ごした写真家・土門拳氏の作品など36点を展示しました。













平成25年度の館外での展示会第7回目は山梨県・甲府市で開催しました。

• 会期:平成25年12月21日(土)~12月25日(水) 午前9時30分~午後6時30分

• 会場:山梨県立図書館1階イベントスペース(山梨県・甲府市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 甲府」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真のほか、特別展示として満蒙開拓青少年義勇軍の写真など、約170点を展示しました。

開催初日には、当資料館の増田名誉館長がメディアの取材を受けました。

特別展示「満州に渡った少年たち〜満蒙開拓青少年義勇軍」では、山梨県からも1,000人を超える少年たちを送出した満蒙開拓青少年義勇軍に関する資料として、訓練所や隊員の写真のほか、日輪兵舎の模型を紹介しました。













平成25年度の館外での最後の展示会は鳥取県・鳥取市で開催しました。

• 会期:平成26年1月22日(火)~1月26日(日) 午前9時30分~午後6時30分

• 会場:とりぎん文化会館 1階 展示室(鳥取県・鳥取市)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

「平和祈念展 in 鳥取」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真など、約160点を展示しました。

